

平成 2 4 年度学校運営計画書

学校名 和歌山市立岡崎小学校

校長名 秦野 稔子

作成日 平成 2 4 年 4 月 2 5 日

学校教育目標

強いからだと豊かな心を養い、最後までよく考え、意欲的に生きる子どもの育成

育てたい子ども像

おもいやりのある子
(豊かな心)

かんがえる子
(考える力)

さきに行動する子
(実践する力)

きたえる子
(強い体と心)

	開かれた学校	豊かな心	確かな学力
本年度の重点	<ul style="list-style-type: none"> 児童・教職員・保護者が教育目標を意識し具現化のための取り組みをする。 保護者や地域との信頼関係を深め、地域の関係団体とも連携を図り、児童の健全育成に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育を柱に、教育活動全体で「豊かな心をもち、よりよく生きようとする子ども」を育成する。 道徳の時間の指導の充実を図り、研究発表会を行う。 心を豊かにする体験活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「わかる授業」「楽しい授業」を目指し、児童一人一人を大切にしたい授業を行う。 「書く力」について研修し、思考力・表現力を伸ばす。 授業や「学習タイム」で基礎基本の確実な定着を図る。
目標達成に向けた具体的な方策	<ul style="list-style-type: none"> 児童と教職員が意識して教育目標の具現化に取り組む。 <u>(挨拶・縦割り掃除等)</u> 学校からの広報誌や学校行事の参観等で学校の教育目標や教育活動等を保護者や地域へ広く知らせる。 児童の様子について、保護者から相談しやすい関係を作り、連絡を密にして、家庭と連携して児童の育成をする。 地域の関係団体とも連携を図り、児童の安全な環境(通学路や災害時を含む)をつくるために取り組む。 児童の学年や発達段階に応じ、地域の方々との交流を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の時間と教科・特別活動・総合的な学習の時間と連携した総合単元を組み、教育活動全体で道徳教育を意図的に行う。 道徳の時間の話し合い活動・発問の工夫・授業展開(特に自己の生き方について考えを深めることの視点を持つ)等の研究を行い、その充実を図る。 一人一研究授業ではクラスの子どもたちの実態を見つめ、つけるべき力を考えて総合単元を組み、資料を選んで発問を考え、子どもを鍛えて授業を行う。 心を豊かにする体験活動(縦割り活動・加太合宿・交流活動・元気な森の子・社会見学等)の内容の精選を行い、充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習指導要領 2 年目の今年度、教材研究をさらに深めて、充実した授業を行う。 思考力・表現力を向上させ活用力をつけるため、考えを書く力や人前で話す力を伸ばすことを大切にしたい授業づくりを行う。 支援員(市特別支援教育支援員・和歌山大学生)を活用し、基礎的な知識・基本的な考え方の定着を図る。 「学習タイム」の内容を充実させ、計算ドリルや漢字学習、読み聞かせ、読書の時間として、国語力・算数力をつける。 一人一人に学力をつけ、自己肯定感を育む。